

質問・質疑

市政のいまを問う

この定例会では2月27日・28日・3月1日の3日間で、19人が登壇し42項目にわたり、市政について質問・質疑が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問・質疑項目(発言順)	(※:掲載した項目)
蜂須賀 信明 議員 災害避難所でのトイレ対応について	前田 秀文 議員 市長の施政方針について
※1 トイレトレーラーの運用について	※1 教育行政方針について
※2 刈谷市の改正水道法の対応について	加藤 賢次 議員 電線類地中化について
白 美恵子 議員 平成31年度当初予算について	佐藤 原 議員 土地区画整理事業について
※1 平成31年度主要施策について	※1 公共施設の禁煙・分煙について
※2 雅弘 議員 教育行政方針における幼児教育について	※1 刈谷市の行政経営の新たなプラットフォームづくりについて
※3 神谷 昌宏 議員 インフラ整備について	野村 武文 議員 歴史博物館の開館と展開について
※1 特別養護老人ホームの誘致について	※1 知的障害児のための特別支援学校について
山崎 崎 議員 災害対策について	山崎 崎 議員 新たな道路整備について
※1 健康 議員 児童虐待対策の強化について	山崎 崎 議員 児童虐待防止への取り組みと今後の施策について
※2 上田 昌哉 議員 小中学校での熱中症対策について	山崎 崎 議員 シモ子 議員 平成31年度(平成31年度)予算案について
※1 山崎 崎 議員 安倍政権と市長の政治姿勢について	山崎 崎 議員 教育長の教育行政の姿勢について
※2 外山 山崎 議員 刈谷市の子ども達について	山崎 崎 議員 自主防災会の活性化への取り組みについて
※1 山崎 崎 議員 自主防災会の活性化への取り組みについて	山崎 崎 議員 児童虐待防止への取り組みの現状と今後の施策について
※2 山崎 崎 議員 平成31年度国家予算から見た、刈谷市への影響について	

すべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。

蜂須賀 信明 議員
大規模災害に備え、避難所に清潔で安心なトイレの確保を
― 備蓄の簡易トイレ等を活用するとともに、順次整備を行う ―

問 災害時におけるトイレ整備の充実には、ライフラインの一つ。現在、比較的大規模な公園11カ所にマンホールトイレを設置している。全避難所に当該トイレを整備する計画は。

答 市内37カ所の避難所のうち学校24カ所に、パルナスを考慮して、順次整備していく。

問 簡易トイレ等の整備は。

前田 秀文 議員
(仮称)刈谷スマートICと岩ヶ池防災ダムの迅速な工事進行を
― 早期の完了を目指し、関係機関と連携を図っていく ―

問 地元でも期待の高い(仮称)刈谷スマートインターチェンジの進捗状況は。

答 平成30年秋頃から工事を開始している。今後はアクセス道路となる県道へ新しく信号交差点を設置するなど、本格的な道路整備に着手し、2022年3月までの供用開始を目指している。

問 岩ヶ池防災ダム事業の進捗と効果は。

答 2021年度完了を目標に平成30年から工事に着手しており、今後は地盤改良や洪水吐の改修を施工していく。本事業



(仮称)刈谷スマートインターチェンジ(イメージパス)

加藤 賢次 議員
防災・安全な交通確保・景観形成の観点から電線類地中化を
― 安全・快適な歩行空間の確保や災害に強いまちづくりを進める ―

問 電線類地中化事業を進める路線は、どのような観点から選定されているのか。

答 「防災」「安全・円滑な交通確保」「景観形成、観光振興」の観点から選定を行い、緊急輸送道路や避難道路に該当する路線、鉄道駅と公共施設などを結ぶ経路に該当する路線などにおいて事業を実施している。

問 今後の事業予定は。

答 2019年度以降に予定している路線は、継続事業の刈谷環状線と新規事業の銀座4丁目交差点から城町図書館までの市道2-1485号線の2路線である。これらの路線の早期完工に向け、事業の推進を図り、完全で快適な歩行空間の確保や災害に強いまちづくりを進める。

佐藤 充泰 議員
15万市民の情報漏えい防止のため、機密管理の徹底を
― システム構築や撮影禁止ルールの導入により、強化を図る ―

問 外部送信するメールの監視機能を強化する予定は。

答 上司にも同時に送信される仕組みを構築する方法などを検討している。また、その他の方法も研究しており、コストや運用面を考慮し、2019年度に予定している職員のメールアドレス等のグループウェアの更新時において強化を図りたい。

問 執務スペース内のカメラ撮影を禁止してはどうか。

答 現状では、業務上必要な場合もあるため、庁舎管理規則に基づき、管理者の許可を得た

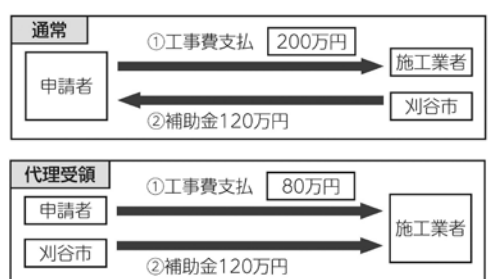


ルールを強化し、情報を守ります

白土 美恵子 議員
耐震等の工事費用に「補助金の代理受領制度」の活用を
― 補助金の代理受領制度を8つの補助事業で活用が可能 ―

問 以前から提言をしている木造住宅耐震改修費用に対する「補助金の代理受領制度」が実施されるとのことだが、概要は。

答 申請者が耐震等の補助金を受け、工事を行う場合、補助金の受領を工事業者へ委任することで、申請者は工事費用から補助金額を差し引いた額を工事業者へ支払えばよくなる。少ない自己資金でも工事を実施することができるため、事業の促進に寄与するものである。現在、建築課では「木造住宅耐震改修費補助」、「取壊し費補助」、「ブロック塀等の撤去費補助」など



例) 200万円の工事の場合、代理受領制度を利用すれば自己資金80万円で工事を実施できます

稲垣 雅弘 議員
人が育つための基本となる幼児教育のさらなる資質向上を
― 子どもたちを慈しみながら、連携して施策を実施していく ―

問 幼児の置かれている環境の変化に対応した幼児教育のあり方は。

答 忍耐力や自己制御、自尊心を幼児期から身につけること

星 雅春 議員
刈谷市政の課題について
平成31年度予算について

渡邊 妙美 議員
災害時の命を守る対策について

鈴木 綱男 議員
亀城公園周辺の整備について

中嶋 祥元 議員
第8次刈谷市総合計画策定について

新海 真規 議員
市民だよりについて

※1 放課後児童クラブについて

※2 雨水対策について

領域のねらいなどに基づき、5歳児後半の具体的な姿として「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」で示されている。その資質等は、幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねていくことで育つため、家庭・地域・幼稚園等が連携し、幼児の健全な成長を促していくことが大切である。

神谷 昌宏 議員
子どもへのインフルエンザ予防接種費に対する補助を
― 公益性と平等性の観点から、費用助成は考えていない ―

問 今年もインフルエンザが猛威を振るったが、学級閉鎖の数はどのようか。

答 2月18日現在で、幼稚園は6園で16クラス、小学校は9校で25学級、中学校はなく、保育園では学級閉鎖を実施していない。

問 既に実施している自治体もあるが、インフルエンザ予防接種費用の補助を行う考えはないか。

答 現段階では感染や発症を防止する効果は弱く、1〜6歳未満児のワクチン有効率は20%



費用補助で予防接種の推進を

野村 武文 議員
機能・安全・美化の観点から、蓋つき側溝の敷設工事を早急に
― 財政状況を勘案しつつ、危険箇所から優先的に進めていく ―

問 平成30年度の落蓋式側溝の整備延長及び事業費は。

答 整備延長は3.5キロメートル、事業費は約3億円の予定である。整備率は51%で、未整備延長は約4.2キロメートル

問 31年度の整備計画は。

答 約3.9キロメートルを整備予定で、事業費は約3億7千万円を見込んでいます。

問 今の進捗度合いでは、完

山本 シモ子 議員
非核自治体宣言を制定し、平和の礎を明確にすべき
― 平和への取り組みや市民が安心して暮らそう努めていく ―

問 「自衛官募集に対して、6割以上の自治体で協力を得ら

山崎 崎 議員
命がけで活動する消防団員へ様々な支援を
― 準中型免許取得費補助制度を新設 ―

問 本市が被災地となった場合、緊急消防援助隊や自衛隊の派遣要請方法及び駐留場所は。

答 派遣要請は県を通じて行い、総合運動公園を駐留場所とする。当該公園において、情報共有や活動の調整を行う。

問 道路交通法の改正により、普通免許では本市のポンプ車の運転ができない。新たに準中型免許が必要になるが、取得する際の補助制度の内容は。

答 ポンプ車を運転できる免許を有しない消防団員が、準中型免許を取得するため自動車教習所に通う経費を補助するもので、補助率は5分の4、補助額の上限は15万円である。また2年以上在籍し、取得後3年以上活動する条件がある。



ポンプ車の運転ができる消防団員を確保し、地域の安全を守ります

新村 健治 議員
高齢者のために特殊詐欺被害の防止対策を
― 不審電話防止装置を65歳以上の人に販売している ―

問 特殊詐欺被害防止のため市が行っていることは。

答 刈谷警察署等と連携し、チラシの配布や声かけをするなど、市民だよりやHPによる注意喚起、消費生活相談員等による講座を開催している。

問 本市で販売している不審電話防止装置とは何か。

答 電話による特殊詐欺等の被害を防止するため、65歳以上の方に1台2,000円で販売をしている。この装置は家庭の電話機に接続すると、電話の呼び出し音が鳴る前に「この会話



被害を未然に防ぎます

山本 シモ子 議員
非核自治体宣言を制定し、平和の礎を明確にすべき
― 平和への取り組みや市民が安心して暮らそう努めていく ―

問 「自衛官募集に対して、6割以上の自治体で協力を得ら

山崎 崎 議員
命がけで活動する消防団員へ様々な支援を
― 準中型免許取得費補助制度を新設 ―

問 今後の事業予定は。

答 2019年度以降に予定している路線は、継続事業の刈谷環状線と新規事業の銀座4丁目交差点から城町図書館までの市道2-1485号線の2路線である。これらの路線の早期完工に向け、事業の推進を図り、完全で快適な歩行空間の確保や災害に強いまちづくりを進める。

山崎 崎 議員
命がけで活動する消防団員へ様々な支援を
― 準中型免許取得費補助制度を新設 ―

問 今後の事業予定は。

答 2019年度以降に予定している路線は、継続事業の刈谷環状線と新規事業の銀座4丁目交差点から城町図書館までの市道2-1485号線の2路線である。これらの路線の早期完工に向け、事業の推進を図り、完全で快適な歩行空間の確保や災害に強いまちづくりを進める。

山崎 崎 議員
命がけで活動する消防団員へ様々な支援を
― 準中型免許取得費補助制度を新設 ―

問 今後の事業予定は。

答 2019年度以降に予定している路線は、継続事業の刈谷環状線と新規事業の銀座4丁目交差点から城町図書館までの市道2-1485号線の2路線である。これらの路線の早期完工に向け、事業の推進を図り、完全で快適な歩行空間の確保や災害に強いまちづくりを進める。

山崎 崎 議員
命がけで活動する消防団員へ様々な支援を
― 準中型免許取得費補助制度を新設 ―

問 今後の事業予定は。

答 2019年度以降に予定している路線は、継続事業の刈谷環状線と新規事業の銀座4丁目交差点から城町図書館までの市道2-1485号線の2路線である。これらの路線の早期完工に向け、事業の推進を図り、完全で快適な歩行空間の確保や災害に強いまちづくりを進める。



原爆パネル展は8月6日~15日 市役所会議室で開催予定

山崎 崎 議員
命がけで活動する消防団員へ様々な支援を
― 準中型免許取得費補助制度を新設 ―

問 今後の事業予定は。

答 2019年度以降に予定している路線は、継続事業の刈谷環状線と新規事業の銀座4丁目交差点から城町図書館までの市道2-1485号線の2路線である。これらの路線の早期完工に向け、事業の推進を図り、完全で快適な歩行空間の確保や災害に強いまちづくりを進める。



様々な施策を計画し 子どもたちの生活を支援